

農技セ第6513号  
平成26年8月15日

各関係機関長 殿  
病害虫防除員 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
病害虫防除所長  
(公印省略)

平成26年度農作物病害虫発生予察情報について

平成26年度農作物病害虫発生予報第7号を発表したので送付します。

### 平成26年度農作物病害虫発生予報第7号

平成26年8月15日  
徳 島 県

#### I. 果樹

##### カンキツ

###### 黒点病

###### 1) 予報内容

発生量 平年並～やや多く(前年より少ない), 発生程度は「少」

###### 2) 予報の根拠

- (1) 8月前半の巡回調査(スダチ)では, 発生を認めていない(平年同時期には, 発生圃場率が16.3%, 果実発病度が0.4)。
- (2) 8月14日発表の1か月予報では, 平年に比べ晴れの日が少ないと見込まれている。気温は平年並か低く, 降水量は平年並か多く, 日照時間は平年並か少ないと予想されており, やや発生助長的な気象条件である。

###### 3) 防除上注意すべき事項

- (1) 枯れ枝を極力除去する。また, せん定枝は園外に持ち出して処分し, 病原菌密度の低下に努める。

##### ミカンハダニ

###### 1) 予報内容

発生量 平年並～やや少なく(前年よりやや多い), 発生程度は「少～中」

###### 2) 予報の根拠

- (1) 8月前半の巡回調査では, 発生圃場率が31.3%, 寄生葉率が6.4%であり, 平年(56.5%, 11.0%)と比べてやや低めの発生である。
- (2) 8月14日発表の1か月予報では, 平年に比べ晴れの日が少ないと見込まれている。気温は平年並か低く, 降水量は平年並か多く, 日照時間は平年並か少ないと予想されており, やや発生抑制的な気象条件である。

###### 3) 防除上注意すべき事項

- (1) 多発すると防除が困難になるので初期防除に努める。防除の際には, 充分な量の薬液を散布する。
- (2) ミカンハダニは薬剤抵抗性が発達しやすいので, 同一系統薬剤の連用は避ける。

#### ナシ

##### うどんこ病

###### 1) 予報内容

発生量 平年並(前年並)で, 発生程度は「少」

###### 2) 予報の根拠

- (1) 8月前半の巡回調査では、発生圃場率が62.5%、葉の発病度が0.4であり、ほぼ平年(43.4%、1.6)並の発生である。
- (2) 8月14日発表の1か月予報では、平年に比べ晴れの日が少ないと見込まれている。気温は平年並か低く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと予想されており、発生には中間的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

- (1) 早期落葉すると樹勢を弱めるので、発生の多い園では収穫後に防除を行なう。

ハダニ類

1) 予報内容

発生量 平年よりやや少なく(前年よりやや少ない)、発生程度は「少」

2) 予報の根拠

- (1) 8月前半の巡回調査では、発生圃場率は37.5%、寄生葉率は1.0%であり、平年(46.3%、8.6%)と比べてやや低めの発生である。
- (2) 8月14日発表の1か月予報では、平年に比べ晴れの日が少ないと見込まれている。気温は平年並か低く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと予想されており、やや発生抑制的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

- (1) 発生の多い園では収穫後に防除を行なう。
- (2) 同一系統薬剤の連用は薬剤抵抗性獲得の恐れがあるので避ける。

ナシヒメシンクイ

1) 予報内容

発生量 平年よりやや少なく(前年より少ない)、発生程度は「少」

2) 予報の根拠

- (1) 7月下旬から8月上旬における交信攪乱用フェロモン剤の未設置園(鳴門市大麻町桧, 川崎, 三俣)でのフェロモントラップ誘殺数は、平年より少なめに推移している。

月半旬	鳴門市大麻町桧			鳴門市大麻町川崎			鳴門市大麻町三俣		
	2014年	2013年	平年	2014年	2013年	平年	2014年	2013年	平年
7.4	54	70	73	11	1	6	5	6	4
7.5	61	87	93	6	9	16	15	6	5
7.6	73	183	151	7	3	39	4	2	3
8.1	58	338	243	12	18	32	9	28	21
8.2	38	343	240	6	25	33	15	30	31
8.3		274	191		10	28		19	21

- (2) 8月14日発表の1か月予報では、平年に比べ晴れの日が少ないと見込まれている。気温は平年並か低く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと予想されており、やや発生抑制的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

- (1) 収穫前の薬剤防除を徹底する。
- (2) 被害果はシンクイムシ類の発生源となるので、早急に処分する。

果樹共通

果樹カメムシ類(ツヤアオカメムシ, チャバネアオカメムシ等)

1) 予報内容

発生量 平年よりやや多く(前年より多い)、発生程度は「中～多」

2) 予報の根拠

- (1) 7月下旬～8月上旬における勝浦町の予察灯への誘殺数は、ツヤアオカメムシ, チャバネアオカメムシともに平年より多めで推移している。また、上板町の予察灯への誘殺数は、ツヤアオカメムシ, チャバネアオカメムシともに平年並で推移している。

[ツヤアオカメムシの誘殺数]

月半旬	勝					浦					田				
	2014年	2013年	2012年	2011年	平 年	2014年	2013年	2012年	2011年	平 年	2014年	2013年	2012年	2011年	平 年
7.4	58	15	145	4	44	14	3	13	0	9	14	3	13	0	9
7.5	64	3	131	3	30	11	1	4	1	6	11	1	4	1	6
7.6	98	29	234	16	49	11	6	4	0	7	11	6	4	0	7
8.1	468	99	127	9	68	3	4	1	0	5	3	4	1	0	5
8.2	228	195	280	9	118	2	12	6	2	6	2	12	6	2	6
8.3		23	429	10	135		2	6	0	6		2	6	0	6

[チャバネアオカメムシの誘殺数]

月半旬	勝					浦					田				
	2014年	2013年	2012年	2011年	平 年	2014年	2013年	2012年	2011年	平 年	2014年	2013年	2012年	2011年	平 年
7.4	18	6	34	6	31	59	10	449	14	81	59	10	449	14	81
7.5	22	3	40	4	39	52	7	634	6	81	52	7	634	6	81
7.6	87	15	65	13	47	47	8	198	1	40	47	8	198	1	40
8.1	194	12	77	7	61	13	8	94	2	33	13	8	94	2	33
8.2	195	66	71	4	90	22	27	21	1	25	22	27	21	1	25
8.3		6	208	27	121		13	10	8	21		13	10	8	21

(2) 8月14日発表の1か月予報では、平年に比べ晴れの日が少ないと見込まれている。気温は平年並か低く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと予想されており、やや発生抑制的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

- (1) 果樹園周辺の雑木林から成虫が飛来するので、園内を巡回し飛来に注意するとともに、飛来を認めたら早急に防除を行なう。
- (2) 果樹カメムシ類は夜行性なので、薬剤の散布は夕方か早朝に実施する。
- (3) 移動性が大きいので、広域一斉防除により防除効果の向上に努める。

II. その他

- 1) 防除にあたっては、圃場をよく観察し、適期を逃さないようにして下さい。
- 2) 薬剤の使用にあたっては必ず使用基準を遵守し、周辺作物等へ飛散しないようにして下さい。

発生量の表示

発生程度：甚>多>中>少>無

発生量：多い>やや多い>並>やや少ない>少ない

徳島県立農林水産総合技術支援センター病害虫防除所  
U R L : <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/t-boujoshou/>

○病害虫の発生予察情報、発生状況、防除法等をお知らせしています。